

新しい生徒会目標、決定です

↓ 生徒会新聞の抜粋

2. 生徒会目標決定

You and I
～優しさ溢れた
愛される附中へ～

一生懸命考えました



先月行った生徒会目標についての話し合いで、三役で各クラスの意見をまとめた結果、「他者意識」「当事者意識」「愛される附中生」というものがキーワードとして多く出てきました。この3つのキーワードをもとにし、この生徒会目標が決定しました。

この目標には下のような意味が込められています。

詳しい説明は今日の生徒集会の通りです。

この生徒会目標を作るにあたって関わってくださった、総代さんや執行部のみなさん、本当にありがとうございました！

“YOU AND I”に込めた思い

他者意識

愛される附中生

▶ “You and I”⇒つながり、他者意識

▶ You…あなた, 優, 勇, 友,

主体性

優しく勇気のある行動

探究心

▶ I…私, 愛, 相,

新しい生徒会目標が決定しました。本日発行の生徒会新聞を一部抜粋して、お知らせします。

昼休みや放課後、長い時間をかけて、クラスでの話し合いや生徒議会を経て決定した、**貴重な生徒会目標**です。これからの生徒会の**活躍に期待**しています。頼もしい限りです。

2学期が終了しました

2学期が終了しました。合唱コンクール、駅伝大会、熊大訪問等の行事や、課活動、探究学習の充実等、**密度の濃い学びの多い学期**でした。

終業式では、1年4組 吉田琥之助さん、2年3組 谷川咲弥子さん、3年3組 柴田千波矢さんが2学期の振り返りを語ってくれました。

【1年4組 吉田琥之助】

附中文化の日。附中三大行事の一つであるこの日は、とても思い出深い行事になりました。合唱コンクールでは、各学級の美しい歌声で、県立劇場を響かせていました。特に最高学年である3年生の先輩方の歌声は、今でも耳から離れないほどでした。僕たち1年4組の目標は「学年優勝」でしたが、本気で練習する人とそうではない人が出てきてしまい、想いのぶつかり合いがクラスの壁を作ってしまった。その結果3日間練習せずに話し合いの日々が続きました。しかし、この話し合いで、みんなの目標や気持ちが一つに定まり、全員が本気で練習に取り組んでいくようになりました。そして合唱コンクール本番、学年優勝することができました。これが1年4組の良さである一つの目標に向かってみんなで全力で突き進めることだと思いました。

校内駅伝大会。話し合いの時間では、駅伝リーダー会が練習方法やいい走り

方などの資料を作り、みんなと共有し、全員が本気で優勝を目指していました。駅伝大会が始まるとみんなが応援し、ランナーは一生懸命走って、アンカーが帰ってきた時にはみんな飛び上がって喜んでいました。こんなに団結できるクラスはないと、改めて思いました。

しかし、こんな1年4組にも、中学生らし

新しい校旗と体育大会優勝旗

本日、新しい校旗と体育大会優勝旗を、石原同窓会長・秀嶋教育後援会長から、生徒代表へ贈呈していただきました。この旗は、本校70周年式典で集まった寄付金の一部で、制作したものです。今後、**本校の象徴として、大切に**していきます。



しい人との関わり方、3分前着席、2分前黙勉などといった課題がまだまだ山積みです。総代として、クラスの一員として、もっといいクラスになるように、全力で頑張っていきたいと思います。

最後に僕自身の反省です。僕はこの1年4組で過ごして、人との関わり方、クラスをまとめることなど、大きく成長することができました。僕は後期で総代になり、たくさんの経験をさせてもらいました。しかし、クラスへの呼びかけや総合などの取り組みは、みんなに助けられてきました。次は、僕がみんなを支えてあげられるような人になれるように頑張ります。

【2年3組 谷川咲弥子】

みなさんは、きっと一人ひとりが成長できた2学期だったと思います。私は、様々なことに挑戦した2学期でした。挑戦したからこそ、多くの学びを得ることができたと思います。特に成長できた行事は、熊大訪問と修学旅行です。

熊大訪問では、学長・副学長の講演を聞くことができました。お話はとても面白く、話に引き込まれたのを覚えています。私が印象的だったのは「何かをするにあたり一人よりも集団で取り組むことが大事で、その時に必ず他者とコミュニケーションを取ることが重要になってくる。」というお話です。その一歩が「挨拶」だと改めて実感しました。また、私は大学教授の前で「どのような緑化活動をしたら、京町が快適に住み続けられるのか」という探究課題について発表する機会をいただきました。大学教授からのアドバイスは「確かに！」と納得する内容で、私は一つのことに視点を置いて考えていることに気付かされました。多角的に考えることで新たな課題が見えてきて面白いなと感じました。広い視野を持つことは、新たな可能性を見出したり、人間関係を円滑に進めることができるのです。

次に修学旅行です。修学旅行では仲間と共に、普段の生活では得られない貴重な経験をすることができました。事前学習をすることで計画的に行動することの大切さを、また実際の修学旅行では計画通りに進まず臨機応変に対応することの大切さを学びました。一人では難しいことも仲間と共に考えを出し合い話し合うことで、楽しく乗り切ることができました。

2025年、「コミュニケーションと挨拶」を大切に、まず自分から行動して、附中生が今よりももっと響きあえる学校になるよう努めたいと思います。

【3年3組 柴田千波矢】

とても充実した2学期を過ごすことができました。その中で、キーワードとして挙げられたのは“3年生として”という言葉だったと思います。

1つ目に課活動では、学習リーダ会として1学期より人前に出ることが多かったです。最近だと合意型全校国語で学習リーダー会がファシリテーターとなって話し合いをすることがありましたね。3年3組では、研究発表会で総合の授業を担当し、その司会役を学習リーダー会に任せてもらえました。その中で一番感じたのは1年生からの成長でした。なぜなら、1年生の時は先生方がみんなの意見をまとめる流れでしたが、今は司会として関連する意見や批判的な意見をまとめなくても“3年生として”自主的に場をまとめてくれる人がいたり、批判的な意見を出してくれる人がいて、1年生の時から成長を感じたからです。

2つ目に部活動では、僕はコーラス部に所属し、コーラス部としては7年ぶりとなる全国の舞台でした。全国の舞台に立たせてもらうのは初めてでしたが、集団としてのまとまりを保つためにも“3年生として”の行動は必要不可欠でした。校長先生もおっしゃっていた他者意識の部分で、すれ違う時に他校の生徒さんへの挨拶やボランティアでサポートしてくださっていたスタッフさんへの挨拶も大事なことだと感じました。

3つ目に学校行事。先週の駅伝大会はとても楽しかったのですが、ここでは合唱コンクールについて触れたいと思います。合唱コンクールも楽しかったですね。自分たちの合唱を形作っていく過程で、3年生が一度は意識したと思うのは去年の先輩方の姿だとおもいます。2年生時は憧れであった3年生の合唱を今度は自分たちが後輩に示していかなければならない、ここで“3年生として”どのような姿を、目指していくのかクラス全体で話し合いました。僕が一番印象に残っていたのは、その話し合いの場に大谷選手の言葉である「憧れるのをやめましょう」という言葉が出ていたことです。これこそ3年生が次の段階に突き進んでいく言葉の表れだと思いました。

このように、2学期では今までで一番“3年生として”の姿が求められたからこそ、とても充実していたし、とても楽しかった学期だったと思います。しかし、3学期はこのような余韻に浸る間もなく目まぐるしく日々が過ぎていくと思います。だからこそ、今一度個人個人が「自分のあるべき姿」を考えてみてほしいと思います。